

平成26年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本年	前年	前5か年
4月 7日	4月 8日	4月 12日

2. 生育状況

項目	年次	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日
新芽長 (cm)	本年	0.74 ± 0.36	1.16 ± 0.54	2.09 ± 0.96	3.11 ± 1.35	4.71 ± 1.83
	前年	0.52 ± 0.37	0.82 ± 0.43	—	—	—
	前5か年			1.27 ± 0.52	2.27 ± 0.75	4.13 ± 1.31
新葉数 (枚)	本年	0.21 ± 0.41	0.83 ± 0.63	1.85 ± 0.71	2.77 ± 0.72	3.29 ± 0.62
	前年	0.18 ± 0.39	0.46 ± 0.68	—	—	—
	前5か年			0.99 ± 0.57	1.70 ± 0.67	2.66 ± 0.63

注) 前年は4月22日に凍霜害が発生した。

3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	2.5	1.0	2.7	8.2	7.4	7.8	-2.6	-3.2	-1.3
	0.7	2.0	2.6	6.7	6.9	7.6	-4.3	-2.5	-1.5
	3.5	2.6	2.2	10.0	8.0	7.1	-2.1	-1.8	-1.9
2月 上旬	2.7	3.2	2.1	7.5	7.7	7.5	-0.5	-0.7	-2.5
	1.5	1.7	2.8	5.6	5.9	8.2	-1.6	-1.5	-1.6
	4.4	2.2	4.2	10.6	7.7	9.9	-1.1	-2.5	-0.6
3月 上旬	3.5	6.2	4.8	8.4	14.2	10.5	-0.8	-0.1	0.0
	6.9	8.1	6.1	13.4	15.9	12.1	1.4	0.7	0.6
	9.5	7.5	7.3	15.6	13.7	13.4	4.0	1.7	1.7
4月 上旬	9.9	11.0	9.7	17.3	17.1	16.2	3.6	5.3	3.7
	11.2	10.9	11.8	18.4	18.8	18.4	4.1	3.9	5.9
	14.0	11.1	13.4	20.2	17.9	19.8	8.4	5.0	7.6
5月 上旬	14.8	12.4	15.8	21.9	20.3	22.2	8.7	5.2	10.2

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	35.0	6.0	17.0	4	5	3.8
	10.0	44.5	21.0	3	5	4.1
	18.5	20.0	22.6	5	3	4.4
2月 上旬	26.5	32.5	19.8	7	7	4.5
	44.0	65.5	27.7	3	7	4.4
	10.5	12.0	26.4	2	5	4.0
3月 上旬	29.5	33.0	30.0	7	4	4.6
	51.5	65.5	32.6	5	4	3.9
	67.5	4.5	40.2	5	2	5.2
4月 上旬	16.0	58.0	33.7	3	5	3.6
	8.0	12.0	30.9	2	3	4.0
	51.0	58.0	32.3	4	5	3.7
5月 上旬	4.0	4.0	43.4	2	1	3.6

終霜日 本年 4月12日 (最低気温 -0.1°C) 前年 4月22日 (最低気温 -0.8°C)

最低極温 本年 -5.6°C (1月14日) 前年 -6.2°C (1月6日)

4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (59年生)	180cm×30cm	99cm	163cm	防霜ファン設置圃場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:46.9 P₂O₅:12.8 K₂O:20.8

5. 概況

1) 気象

1月から2月にかけての平均気温は、1月下旬が平年比+1.3℃とやや高かったことを除き、平年比-1.9℃～+0.6℃とかなり低め～平年並で推移した。3月に入っても上旬は-1.3℃とやや低かったが、中・下旬は平年比+0.8℃、+2.2℃とやや～かなり高めで推移した。4月以降は平年比-1.0℃～+0.6℃とやや低め～平年並で推移した。

1月から4月の降水量は、月別にみると平年の77%～144%と平年並～やや多めで推移した。5月上旬は平年の9%とかなり少なかった。

2) 生育

本年の一番茶萌芽期は、3月中・下旬の気温が高く推移したため、前年より1日早く、前5か年平均より5日早い4月7日となった。

萌芽期以降は、4月中・下旬の気温が平年並で推移したことから5か年平均に比べて生育が早く進んだが、5月に入ると気温がやや低くなったことから生育の進みがやや緩慢となった。

平成26年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
5月11日	—	5月13日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前5か年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
367 ± 15	70	—		527 ± 34	100

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前5か年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
32.6 ± 2.7	94	—		34.8 ± 1.4	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前5か年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
1191 ± 120	76	—		1574 ± 118	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前5か年
53	—	58

注) 前年は4月22日に凍霜害が発生した。

6. 概況

1) 生育

萌芽期が前5か年平均より5日早かったものの、5月上旬の気温が低く、新芽の生育の進みが緩慢となったため、本年の一番茶摘採日は、前5か年平均より2日早い5月11日となった。ま

た、萌芽期から摘採日までの日数は34日と前5か年平均より3日長かった。

本年の摘芽状況は、百芽重が前5か年平均の94%と同等であったものの、新芽数が24%少なかったため、生葉収量は前5か年平均より30%少ない367kg/10aとなった。

2) 県内の状況

平坦地の摘採始めは5月5日頃、山間地は5月12日頃と平年並となった。また、全般的に芽数が少なく、2割程度の減収となった。

3) 病害虫の発生

チャノコカクモンハマキの越冬成虫の発生が平年に比べ多かったが、実害はみられなかった。また、チャノホソガの巻葉が散見された。